

2016 ものづくり総合大会

ものづくり総合大会はさらに進化を続けます！

- 2016年2月17日(水) → 19日(金) 3日間
- 東京コンファレンスセンター・品川
- <http://jma-seisan.jp/>

●大会HP



●参加対象

| | | | | | | |
|------|--------|-------|-------|-------|-------|------|
| 生産技術 | 調達・SCM | 購買・調達 | 企画・開発 | 開発・研究 | 発注・設計 | 品質保証 |
| 生産企画 | | 開発購買 | 開発購買 | 研究 | R&D | 品質管理 |
| 生産戦略 | | 購買戦略 | 購買戦略 | 商品企画 | | R&D |
| 生産管理 | | | | | | 商品企画 |

人材育成
上記部門に携わる幹部・マネジャー・スタッフの方々

1日目 2月17日(水)

OP オープニングセッション 10:00~16:50

(敬称略)

- ◆ 主催挨拶 10:00~10:05
- ◆ 委員長挨拶 10:05~10:10
- ◆ JMAものづくり貢献賞 10:10~11:15

【表彰式 10:10~10:15】 【受賞記念講話 10:15~11:15】

日産自動車

元副会長 **高橋 忠生**

「マネジメント改革とものづくり ~日産自動車を例にして~」

【略歴】 1988年4月 日産自動車入社
1998年6月 同社 取締役
2002年6月 同社 取締役 副社長 生産 SCMグローバル情報システム担当
2007年4月 同社 取締役 副社長 海外 知的資産管理 担当
2009年4月 同社 取締役
2009年6月 同社 特別顧問
2013年9月 同社 元副会長

- ◆ JMAものづくり貢献賞とは

長年にわたり、ものづくりの改革・改善分野において、自社はもとより産業界の発展に大きく貢献され、かつ日本能率協会の同分野における活動への貢献が顕著に認められる企業人(個人)を選定し、「ものづくり総合大会」において表彰することにより、その功に報いるとともに、その功績を産業界に広く紹介するものです。

◆ 特別講演 1 11:40~12:50

新日鐵住金

代表取締役 副社長 **宮坂 明博**

「新日鐵住金のものづくりと技術開発」

- ① 総合力世界No.1鉄鋼メーカーを目指す
- ② 日本のものづくりを支える鉄鋼メーカーの役割
- ③ 新日鐵住金の技術開発

【略歴】 1978年4月 新日本製鐵入社
2007年4月 同社 フスロー(執行役員待遇)就任
(技術開発本部 鉄鋼研究所 表面処理研究部長兼委員)
同社 常務執行役員(名古屋製鐵所長兼委員)
2011年4月 住友金属工業との経営統合により新日鐵住金となる
2012年10月 新日鐵住金 常務執行役員(名古屋製鐵所長兼委員)
2013年4月 同社 副社長執行役員(技術開発本部長兼委員)
2013年6月 同社 代表取締役副社長(技術開発本部長兼委員)

◆ 特別講演 2 14:10~15:20

リコー

代表取締役 会長執行役員 **近藤 史朗**

「未来を創る」イノベティブな企業であり続けるために」

- ① PF戦略による開発・製造効率最大化
- ② PF戦略の核となるコンポーネント商品の機能最大化
- ③ PF戦略をベースとした商品の価値最大化

2013年~2015年中期計画において「新機種250モデル投入」を目標に、PF戦略を軸に開発効率向上に取り組んだ。主要部品と材料・生産技術とを、競合力のあるモデル開発を行ってきた事例を紹介する。

◆ 特別講演 3 15:40~16:50

ヤマハ発動機

代表取締役社長 **柳 弘之**

「翔ぶために ヤマハらしさを求めて」

- ① ブランド観
- ② 企業経営観
- ③ 広がるモビリティの世界

【略歴】 1978年4月 ヤマハ発動機入社
2006年1月 同社 中国事業部長 兼 中国事業部 業務部長
2007年3月 同社 執行役員 MCO事業本部 SCM統括部長
2009年1月 同社 執行役員 生産本部長
2009年3月 同社 上席執行役員 生産本部長
2009年11月 同社 上席執行役員 MCO事業本部 MC統括部長
2010年3月 同社 代表取締役社長 社長執行役員

2日目 2月18日(木) 10:00~16:30

10:00~11:40

A 次世代ものづくりの方向性

コーディネーター:日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 石山 真実

| | | |
|--|--|---|
| <h3>A1 三菱電機</h3> <p>名古屋製作所 生産システム推進部長 兼 開発部長 高田 志郎</p> <h4>IT技術活用による次世代生産システムの取り組み</h4> <ul style="list-style-type: none">①三菱電機が考えるものづくりの将来像②FA統合ソリューション e-F@ctory③e-F@ctoryによる生産革新取り組み事例 <p>IT技術を活用した、将来のものづくりを実現するFA統合ソリューション e-F@ctoryについて、三菱電機が考えるものづくりの将来像とともに、e-F@ctory生産革新事例を紹介する。</p> | <h3>A2 富士ゼロックス</h3> <p>モノ作り技術本部 執行役員 鶴岡 亮一</p> <h4>技術・開発・生産をデジタル情報でつなぐプロセス構築に向けた取り組み</h4> <ul style="list-style-type: none">①富士ゼロックスが過去に取り組んできたこと②現在の取り組み③次なるステージに向けて「ものづくりフロントローディング活動」 <p>技術、開発、生産各要件を3Dデジタルデータでつなぐ、点から面へと進化させてきた富士ゼロックスのものづくりフロントローディング活動の狙いと取り組みについて紹介する。</p> | <h3>A3 オムロン</h3> <p>グローバルものづくり革新本部 生産技術革新センター長 中村 憲治</p> <h4>オムロンのものづくり革新への挑戦 ~デジタル技術によるものづくり革新の取り組み~</h4> <ul style="list-style-type: none">①IoT、デジタル技術でグローバルをつなぐオムロンのものづくり革新②エッジコンピューティングにおけるIoT活用領域と取り組み事例③サブライチングにおけるラインの見える化と制御技術の取り組み事例 <p>グローバル競争が激化する中、生産性向上、収益力強化、人財活用などの課題解決に向け、ものづくり(O)リユース(産・機)をデジタル技術で変えるオムロンのものづくり革新への取り組みを紹介する。</p> |
|--|--|---|

12:50~14:30

B オープンイノベーションとものづくり

コーディネーター:日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 野元 伸一郎

| | | |
|---|---|---|
| <h3>B1 慶應義塾大学大学院</h3> <p>システムデザイン・マネジメント研究所 准教授 白坂 成功</p> <h4>今おこつつある システム開発方法論の革新 ~宇宙機開発を事例とした日本らしいシステム開発方法論~</h4> <ul style="list-style-type: none">①システム開発②宇宙機開発③日本らしい開発 <p>システム開発のアプローチが大きく変わり始めている。本講演では、宇宙機開発を事例としながら、世界と日本におけるシステムエッジコンピューティングの最新動向を紹介する。</p> | <h3>B2 ベッコフオートメーション</h3> <p>代表取締役社長 川野 俊充</p> <h4>オープンイノベーションで新市場創出を目指すインダストリー4.0</h4> <ul style="list-style-type: none">①日米独自のインダストリー4.0-インダストリアルIoTの取り組みとその最新動向②標準規格によるものづくりのオープン化の影響と対応策③14.0/11.0により広がるクラウドソーシングと新市場の可能性 <p>ドイツで始まった第4次産業革命への各国の取り組みは新たなステップを導入、効率改善と価値創造の両面から新たな可能性を模索する動きとなっている。その動向と将来像を事例を交えながら紹介する。</p> | <h3>B3 SAPジャパン</h3> <p>インダストリークラウド事業統括本部 イノベーションアーキテクト 柳浦 健一郎</p> <h4>SAPにおけるオープンイノベーションの取り組み</h4> <ul style="list-style-type: none">①SAPのエコシステムとオープンイノベーション②SAPのオープンイノベーション実践例③イノベーションを創出するプレラムワークとインドセット <p>あらゆる業界でイノベーションが起こり、従来の競争環境が激変する時代に突入したのではないかとSAPの新製品を生み出すプロセスを事例を含め紹介する。</p> |
|---|---|---|

14:50~16:30

C グローバルに対応する調達とは

コーディネーター:日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 加賀美 行彦

| | | |
|--|---|--|
| <h3>C1 IHI</h3> <p>常務執行役員 調達企画本部長 高田 成人</p> <h4>調達費削減のグローバル戦略</h4> <ul style="list-style-type: none">①ポートフォリオ分析に基づく調達費削減活動②成長に資する調達網のグローバル化③共通品目の専門家カウンスル <p>受注生産事業がほとんどであるIHIの調達力強化(特に調達費削減と調達網グローバル化)に向けた重点施策の取り組みとその実践に向けた取り組み事例を紹介する。</p> | <h3>C2 日本電気</h3> <p>サプライチェーン統括ユニット 調達本部長代理 清水 茂樹</p> <h4>NECにおけるグローバル調達力強化への取り組み</h4> <ul style="list-style-type: none">①NECのグローバル調達の歩みと課題②Global Purchasing Boardによる現地調達力強化③調達を通じた価値創造 <p>グローバルに社会ソリューション事業を展開する当社にとって、調達も従来のコストダウン中心の活動から、価値創造を目指して進める必要がある。その取り組み、活動について紹介する。</p> | <h3>C3 味の素</h3> <p>グループ調達センター グローバル企画戦略グループ長 船越 高志</p> <h4>事業のグローバル展開と調達の考え方</h4> <ul style="list-style-type: none">①味の素社における海外での事業活動と調達の考え方②重要原料の調達事例③今後のグローバル調達の方向性 <p>「進出国への貢献」「現地生活者の嗜好への徹底的適合」という、味の素の海外事業展開の基本的な考え方を、調達活動の事例を交えて紹介する。</p> |
|--|---|--|

◆ 特別講演 2 14:10~15:20

ヤマハ発動機

エンジンユニット コンポーネント統括部 生産技術部 部長 **木村 嘉浩**

PF戦略をベースとした多様性への挑戦

- ①PF戦略による開発・製造効率最大化
- ②PF戦略の核となるコンポーネント商品の機能最大化
- ③PF戦略をベースとした商品の価値最大化

2013年~2015年中期計画において「新機種250モデル投入」を目標に、PF戦略を軸に開発効率向上に取り組んだ。主要部品と材料・生産技術とを、競合力のあるモデル開発を行ってきた事例を紹介する。

◆ 特別講演 2 14:10~15:20

リコー

代表取締役 会長執行役員 **近藤 史朗**

「未来を創る」イノベティブな企業であり続けるために」

- ① PF戦略による開発・製造効率最大化
- ② PF戦略の核となるコンポーネント商品の機能最大化
- ③ PF戦略をベースとした商品の価値最大化

2013年~2015年中期計画において「新機種250モデル投入」を目標に、PF戦略を軸に開発効率向上に取り組んだ。主要部品と材料・生産技術とを、競合力のあるモデル開発を行ってきた事例を紹介する。

◆ 特別講演 3 15:40~16:50

ヤマハ発動機

代表取締役社長 **柳 弘之**

「翔ぶために ヤマハらしさを求めて」

- ① ブランド観
- ② 企業経営観
- ③ 広がるモビリティの世界

【略歴】 1978年4月 ヤマハ発動機入社
2006年1月 同社 中国事業部長 兼 中国事業部 業務部長
2007年3月 同社 執行役員 MCO事業本部 SCM統括部長
2009年1月 同社 執行役員 生産本部長
2009年3月 同社 上席執行役員 生産本部長
2009年11月 同社 上席執行役員 MCO事業本部 MC統括部長
2010年3月 同社 代表取締役社長 社長執行役員

3日目 2月19日(金) 10:00~16:30

10:00~11:40

A GOOD FACTORY賞 優秀企業事例に学ぶ

コーディネーター:日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 石山 真実

| | | |
|---|--|---|
| <h3>A1 コマツ</h3> <p>常務執行役員 生産本部 副本部長(兼)栗津工場長 山下 修二</p> <h4>電力半減を切り口にしたダントツの生産改革とCSR活動</h4> <ul style="list-style-type: none">①活動の背景②生産性向上活動と電力削減活動③地域への農業・林業支援活動 <p>コマツ栗津工場に面積生産性2倍と購入電力90%削減を目標とした新組立工場を稼働し、創エネの手段として地域林業活性化支援を兼ねた木質バイオマス発電工場を導入した取り組みを紹介する。</p> | <h3>A5 日立金属</h3> <p>技術センター 主管技師 (前日立メタルズタイランド社長) 中西 壮一</p> <h4>会社ビジョン「To be an Excellent Company」を目指した取り組み</h4> <ul style="list-style-type: none">①頑張った人が報われる仕組みとは?②日本人駐在員の役割(日本人駐在員の特徴とは?)③愛社精神あふれるローカルメンバーはどうして生まれたのか? <p>従業員が自分の子供を任せたいと思える会社を合言葉に、4年前のタイ大洪水をも域内最速復旧を果たし、誰も辞めない選抜した人財育成の事例を紹介する。</p> | <h3>A6 東芝キャリア</h3> <p>富士工場長 奥田 正幸</p> <h4>IEを基軸とした人財育成</h4> <ul style="list-style-type: none">①IEインストラクター専任化組織による人財育成とIE推進②独自の人財育成体系とカリキュラム③SGA活動による改善マインド醸成 <p>IEを中心とした独自の人財育成制度や教育カリキュラムを構築し富士工場が中心となって東芝キャリアグループ内外拠点と連携した人財育成の仕組みを紹介する。</p> |
|---|--|---|

12:50~14:30

B もの・ことづくりへの挑戦

コーディネーター:日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 野元 伸一郎

| | | |
|---|---|--|
| <h3>B4 ファナック</h3> <p>ロボット事業本部 グローバル事業戦略本部 開発手法戦略室 室長 中川 浩</p> <h4>ファナックのモノづくりと次世代ロボット開発の取り組み</h4> <ul style="list-style-type: none">①ファナックについて②ファナックのロボット③ファナックのモノづくり④次世代ロボット開発の取り組み <p>工場で使用される生産財を製造するファナックのモノづくりの基本的な考え方と、次世代ロボット開発への取り組みについて紹介する。</p> | <h3>B5 オリンパス</h3> <p>製造部門 ソリューション技術本部 ECM推進部 開発革新担当部長 緒方 隆司</p> <h4>科学的手法による開発効率向上の取り組み ~「機能」をベースとした目的別手法の提案~</h4> <ul style="list-style-type: none">①手法推進の視点から開発者の目的別視点への変革②現場の技術課題に柔軟に対応した手法の提案③実践を通じて得た「気づき」を開発者の効率向上に繋げる仕組み <p>6年前、開発者と顧客を促して科学的手法による開発効率改善に取り組んできた結果、機能を要とした目的別のアプローチ方法に至った。新製品開発の事例も交えて紹介する。</p> | <h3>B6 トヨタ自動車</h3> <p>技術統括部長 古賀 伸彦</p> <h4>トヨタ自動車の環境技術戦略</h4> <ul style="list-style-type: none">①現状・今後の見通し②主要な取り組み ~パワートレイン戦略③統合的な対策 <p>持続的なモビリティ社会の発展のために、道路輸送部門の更なる効率化、環境負荷の削減を図ることは、われわれ自動車会社としての責務である。本報告では、統合的な対策を軸に、トヨタ自動車の戦略を紹介する。</p> |
|---|---|--|

14:50~16:30

C 調達戦略をひも解く

コーディネーター:日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 加賀美 行彦

| | | |
|---|---|--|
| <h3>C4 日立製作所</h3> <p>情報・通信システム社 CPO 兼 調達本部 本部長 篠原 昭一</p> <h4>コスト最適化設計への調達プロセスのあり方</h4> <ul style="list-style-type: none">①製品ライフサイクルに対応した原価企画の参画②取引先に対するパートナーシップ活動の強化③開発プロセスの共通化、標準化活動 <p>従来のVIE活動を一歩進め進めるために、商品毎のライフサイクルでの原価、原価と次世代の企画管理が必要である。開発プロセスにおける調達視点の原価企画活動を紹介する。</p> | <h3>C5 あまねキャリア工房</h3> <p>代表・ITアウトソーシング ITサービス 業務プロセスマネジメント 沢渡 あまね</p> <h4>モノ買いの時代からサービス調達の時代へ ~IT調達に求められる3SD~</h4> <ul style="list-style-type: none">①「モノ」から「サービス」へ ~企業のITにおけるパラダイムシフト②「3SD」 ~これからのIT調達組織に求められる4つの管理③自社ブランドの守り手として ~調達部門の新たな役割 <p>弊社では部品などの直接材以外の支出をノンプロ材と定義している。一般にこの領域の購買は、プロセスがバラバラでQCD向上が見えとされておらず弊社の活動を紹介します。</p> | <h3>C6 富士ゼロックス</h3> <p>調達本部購買革新部 部長 中神 隆司</p> <h4>富士ゼロックスにおけるノンプロ購買改革</h4> <ul style="list-style-type: none">①一般間接材購買の課題②FXノンプロ調達改革の狙いと概要③今後更に強化すべきポイント <p>弊社では部品などの直接材以外の支出をノンプロ材と定義している。一般にこの領域の購買は、プロセスがバラバラでQCD向上が見えとされておらず弊社の活動を紹介します。</p> |
|---|---|--|

◆ 特別講演 2 14:10~15:20

リコー

代表取締役 会長執行役員 **近藤 史朗**

「未来を創る」イノベティブな企業であり続けるために」

- ① PF戦略による開発・製造効率最大化
- ② PF戦略の核となるコンポーネント商品の機能最大化
- ③ PF戦略をベースとした商品の価値最大化

2013年~2015年中期計画において「新機種250モデル投入」を目標に、PF戦略を軸に開発効率向上に取り組んだ。主要部品と材料・生産技術とを、競合力のあるモデル開発を行ってきた事例を紹介する。

◆ 特別講演 2 14:10~15:20

リコー

代表取締役 会長執行役員 **近藤 史朗**

「未来を創る」イノベティブな企業であり続けるために」

- ① PF戦略による開発・製造効率最大化
- ② PF戦略の核となるコンポーネント商品の機能最大化
- ③ PF戦略をベースとした商品の価値最大化

2013年~2015年中期計画において「新機種250モデル投入」を目標に、PF戦略を軸に開発効率向上に取り組んだ。主要部品と材料・生産技術とを、競合力のあるモデル開発を行ってきた事例を紹介する。

◆ 特別講演 3 15:40~16:50

ヤマハ発動機

代表取締役社長 **柳 弘之**

「翔ぶために ヤマハらしさを求めて」

- ① ブランド観
- ② 企業経営観
- ③ 広がるモビリティの世界

【略歴】 1978年4月 ヤマハ発動機入社
2006年1月 同社 中国事業部長 兼 中国事業部 業務部長
2007年3月 同社 執行役員 MCO事業本部 SCM統括部長
2009年1月 同社 執行役員 生産本部長
2009年3月 同社 上席執行役員 生産本部長
2009年11月 同社 上席執行役員 MCO事業本部 MC統括部長
2010年3月 同社 代表取締役社長 社長執行役員